

さても一昨日は

御心入の桜ばへ

御沢山に御送り下され、

難有御礼申上候、さつ速

うちより拝味いたし候、

何時も結構に

頂戴いたし候へ共、

此度のは殊更

御味よろしく、それくへも

御すそわけ申候処、

いづれも大々

御好評に御座候、御厚志

忝く御礼申上候、

御礼申出居候、尚また  
電報にてあつかましき事  
御願ひ申上、なにとも  
恐縮の外御座なく候、  
実は貳拾九日客を  
いたし候に付き、是非とも  
桜ばえを差上度様  
主人の申され、あまり  
あつかましき事とは  
存候へ共、それをも  
かへりみす電報  
など差上、勝手のみ  
頼上、誠にすまぬ事に存候、  
あしからず御ゆるし  
下され度候、なにも  
おくれはせ乍、御礼かたく  
御頼上、かしこ、  
三月廿六日夜 安子  
ぎん子様